

白神・青森の大地から見えてくる温暖化の将来 ～ 研究の最前線からの報告 ～

共催： 2021年3月19日(金) 14:00～16:30
国立環境研究所地球環境研究センター Zoomミーティングにてオンライン開催
弘前大学農学生命科学部附属
白神自然環境研究センター
後援： 参加費無料
青森県地球温暖化防止活動推進センター 事前登録制 定員100名
白神山地ビジターセンター

森林が CO₂ の大きな吸収源であることは広く知られていますが、気候変動が進んだ将来でも吸収源でありつづけるかどうかについては分かっていないことも多くあります。今回は森林の CO₂ 収支と気候変動への応答を対象とした研究の中で、青森・白神を舞台とした最新の結果などを紹介します。

【プログラム】

司会進行：高橋 善幸（国立環境研究所）・石田 祐宣（弘前大学）

- | | |
|---|----------------------|
| 14:00 開会挨拶 | 石川 幸男（弘前大学） |
| 14:10 趣旨・研究概要説明 | 高橋 善幸（国立環境研究所） |
| 14:20 「温暖化の現状と白神の観測でわかったこと」 | 石田 祐宣（弘前大学） |
| 14:45 「温室効果ガスの観測からわかる炭素循環」
～温暖化で白神の土から出るCO ₂ が増える!?!～ | 寺本 宗正（鳥取大学） |
| 15:05 「放射性炭素からわかる炭素循環」
～炭素の時計で考える 大気と土壌の繋がり～ | 安藤 麻里子（原子力研究開発機構） |
| 15:20 「遺伝解析からわかる炭素循環」
～遺伝子から見えてくる 目には見えない土壌の変化～ | 近藤 俊明（国際農林水産業研究センター） |
| 15:35 「気候変動はリンゴ園の炭素の出入りに
どのように影響するのか」 | 伊藤 大雄（弘前大学） |
| 16:00 ～総合討論・質問など～ | |
| 16:20 閉会挨拶 | 梁 乃申（国立環境研究所） |
| 16:30 閉会 | |

★本シンポジウムは、独立行政法人環境再生保全機構・環境省環境研究総合推進費【2-2006】
「メタン吸収能を含めたアジア域の森林における土壌炭素動態の統括的観測に基づいた気候変動影響の将来予測」の課題で実施します。

事前登録制
3月17日締切
〔定員100名〕

下記メールアドレスにて事前登録をお願いします。
登録された方には後日 Webinar の URL をお知らせします。
2021sympo-nies-hu@nies.go.jp (QRコード👉)
推進費2-2006課題公開シンポジウム事務局宛
メールタイトル：「公開シンポ参加希望」
メール本文に参加者氏名と居住地（市区町村）を記載の上、お申し込みください。

